事　務　事　業　チ　ェ　ッ　ク　シ　ー　ト

評価年度	H24	H25	H26	対象外
		○		

事務事業No　事業名

477　広域観光連携事業（関西国際空港関連自治体等との連携）

分野別目標	3	市民と地域がつくる元気なまち
政　策	3	観光の振興
施　策	2	観光客の誘致
取　組	2	広域観光の推進

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間	H20	～	
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長（Tel）	観光課	市川　雅章（435-1234）	
関連課			

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	観光費		
	目	観光振興費		
	大事業	観光振興事業		
	事項	広域観光連携事業		

「３つのキーワード」との関連性

いのちを守る	人と文化を育てる	ふるさと力を高める	該当せず
			○

1　事業概要及び実施内容

	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容
事業概要	海外からの観光客誘致を図るとともに、他市町村等との連携により広域的な観光の魅力を向上させるための取組をおこなう。	紀の川みち広域観光連絡協議会及び関西国際空港内観光案内所整備運営協議会への参画、また、各種団体との連携。

	平成２１年度	平成２２年度	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度
実施内容	○紀の川みち広域観光連絡協議会との連携 ○関西国際空港内観光案内所の運営	○紀の川みち広域観光連絡協議会との連携 ○関西国際空港内観光案内所の運営	○紀の川みち広域観光連絡協議会との連携 ○関西国際空港内観光案内所の運営	○紀の川みち広域観光連絡協議会との連携 ○関西国際空港内観光案内所の運営	○紀の川みち広域観光連絡協議会との連携 ○関西国際空港内観光案内所の運営 ○わかやまデスティネーションプレキャンペーン

2　事業コスト

			平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費（千円）	事業費		2,999	2,766	2,725	2,637	2,662	2,650	2,678	2,646	4,342	
	伸び率（%）		-	-	-9.1%		-2.3%		0.6%		62.1%	
	人件費	常勤職員	7,817	10,158	7,817	9,877	6,026	6,159	6,026	6,259	6,259	
		非常勤職員	0	0	0		0	0	0	0	0	
		小計	7,817	10,158	7,817	9,877	6,026	6,159	6,026	6,259	6,259	
	国庫支出金											
	県支出金											
	市　債											
	そ の 他		832	832								
	一般財源（税等）		2,100	1,934	2,725	2,637	2,662	2,650	2,678	2,646	4,342	
	所要人数	常勤職員	1.02	1.33	1.02	0.66	0.8	0.82	0.8	0.84	0.84	
		非常勤職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
主な予算内訳			観光事業負担金　２，９７４千円									

3　目標及び実績

	指標名及び達成状況							平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
活動指標							年度目標値					
							実績値					
	単位	万人	全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度					
							年度目標値					
							実績値					
	単位		全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度					
成果指標	年間観光客数						年度目標値	640	650	660	670	680
							実績値	589	582	549	583	
	単位	万人	全体目標値	680	全体目標達成度	85.6%	年度別達成度	92.0%	89.5%	83.2%	87.0%	
							年度目標値					
							実績値					
	単位		全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70～90%未満)		達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性					
	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

担当課評価の根拠	紀の川沿川の市町等と連携し、広域的な観光ルートの提案、振興を図っていく。
「見直し」 「改善」案 ※上記、「今後の方向性」において、「事業内容」、「コスト投入」の方向性が共に**「現状維持」以外の場合**は記載	